

<報告事項>

I. 「2024 年度事業計画」(案) について

～ 別添資料参照 ～

II. 共生社会の実現に向けた「2024 年度具体取組み」について

～ 別添資料参照 ～

---

全道推進会議

---

<報告事項>

I. 2023 年度推進活動総括 (案)

2023 年度における労金運動の推進は、北海道ろうきんが、「長期ビジョン (～2024 年度) の集大成となる「中期経営計画 (2022～2024 年度)」においてコアバリューとして設定した「共生社会の実現」と「健全経営の維持」の実現に向けて、会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めました。

具体的には、「つなぐプロジェクト for SDG s」推進運動を基軸とし、コロナ禍の中で取組みの幅が広がった WEB 環境を活用しつつ、コロナ禍以前の対面を基本とした運動を前提とした組合員との接点強化に資する各種取組みを行うことで、ろうきんメインバンク No.1 への取組みを展開しました。

<重点取組項目>

1. 【つなぐプロジェクト for SDG s】における「自主目標設定運動」の取組み

(1) 【つなぐプロジェクト for SDG s】の達成にむけ「会員自主目標推進運動」を『重点取組み項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みました。

(2) 各店・出張所推進委員会においては、「会員自主目標の設定件数」が「つなぐプロジェクト会員目標」に近づくよう取組みを展開した結果、会員自主目標推進運動は3月末時点で662会員となりました。【資料1-①・②参照】

2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み【資料2参照】

(1) 『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、昨今の物価高騰等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の可処分所得向上に資する取組みを『重点取組み項目』に設定し、組合員の生活改善に取組みました。

(2) 可処分所得向上額10億円を目標に、職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動、「他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換推進」や「奨学金借換ローンの周知活動」によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開しました。なお、自治労北海道が、奨学金の返済に苦慮する仲間の支援に加え、組織強化と次代の担い手育成につなげることを目的に、北海道労働金庫と連携の上、2022年12月に取扱いを開始した組合保証の「奨学金借換ローン」は、2024年3月末時点で、65件、1億56百万円の取組実績となりました。

① 可処分所得向上運動

可処分所得向上額（2024年3月末時点）
【実績】6億83百万円（前年同期比+89百万円）
可処分所得向上運動に関する学習会開催実績（2024年3月末時点）
【実績】425件／10,136名（前年同期比+184件）

② 「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知運動

【奨学金借換ローン】

奨学金借換ローン新規実績（2024年3月末時点）
【実績】53件／1億38百万円（前年同期比+6件／32百万円）
奨学金借換ローン累計実績（2024年3月末時点）
【実績】518件／12億63百万円（集計期間：2017年10月1日～2024年3月31日）

【奨学金借換+αローン】

奨学金借換+αローン新規実績（2024年3月末時点）
【実績】33件／1億36百万円

③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

全力応援 pack（非正規勤労者向け融資商品）新規件数（2024年3月末時点）
【実績】549件（前年同期比▲101件）

<共通取組項目>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開【資料3-①～③参照】

- (1) ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大に取り組みました。
- (2) 具体的には、「会員自主目標推進運動」を基軸として、年度当初に寄付先を選定し、地域団体への貢献と連携を進めたうえで、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動を展開しました。
- (3) 結果として、2024年3月末時点での同プロジェクト対象項目の預金・融資・各種サービス新規取引実績は46,096件、「北海道ろうきんATM利用件数」は1,447,578件、非対面項目が28,856件、ろうきん運動項目が1,443件、NPOとの連携項目が31件となりました。また、今年度より追加となった【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】については、231,030回となりました。利用実績やろうきん運動項目等に応じた福祉団体への寄付見込額は9,983千円（前年同期比+810千円）となりました。

【預金・融資・各種サービス実績】

No	項目	年間目標	3月末実績	達成率
①	メイン化（給振・年金・公振・クレジット）	18,000	19,635	109.0%
②	預金（財形・エース・お子さま口座）	6,350	6,499	102.3%
③	融資（団体融資・手形貸付等除く）	15,427	17,227	111.6%
④	預かり資産（個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規）	1,684	2,735	162.4%
	合計	41,461	46,096	111.1%

【北海道ろうきん ATM 利用件数】

項目	件数
北海道ろうきん ATM 利用件数	1,447,578 件

※ 北海道ろうきん ATM にて入金・出金（ローンカード含む）1 回につき 1 円を寄付。

【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】

項目	件数
ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数	231,030 回

※ 北海道ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数 1 回につき 1 円を寄付。

【非対面項目実績】

項目	年間目標	3 月末実績	達成率
非対面（ろうきんアプリ・エコ通帳・団体 I B）	21,100	28,856	136.7%

【ろうきん運動項目実績】

No	項目	回数・会員数
①	学習会開催回数	932 回
②	議案書・機関紙への掲載会員数	511 会員
	合計	1,443

【NPO との連携項目実績】

No	項目	件数
①	融資相談件数	18 件
②	NPO 法人普通預金口座開設数	13 件
	合計	31 件

【会員自主目標推進運動実績】

項目	会員数
会員自主目標設定会員数	662 会員

2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

(1) 生活設計運動の取組み

- ① 「2023 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取組みました。取組みにあたっては、組合員の「貯蓄」と「投資」のバランスに配慮し、特に勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知に取り組みました。

2023 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン(4 月 3 日～12 月 29 日) 新規件数 (2023 年 12 月末時点)
財形新規件数：3,055 件 / iDeCo 新規件数：371 件 / 投資信託定時定額買付(つみたて NISA 含む)：1,036 件

※ キャンペーン対象商品：「年金財形」または「iDeCo」または「投資信託定時定額買付(つみたて NISA 含む)」の新規契約（適用条件有）

エース預金新規件数 (2024 年 3 月末時点)
【新規件数】636 件 (前年同期比▲65 件)

投資信託・国債新規件数（2024年3月末時点）

投資信託新規件数：1,125件／国債新規件数：1,106件

- ② 退職者層の生涯取引に向けて、「退職金結集運動」を展開し、産別からの退職者情報提供（8産別）「全開発・JP労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催（31会員・577名）」など会員・推進機構による主体的な運動に取り組みました。【資料4参照】

退職金結集金額（2024年3月末時点）

【運動目標】87億18百万円 【運動成果】138億25百万円（目標対比+51億6百万円）

- ③ ろうきん運動の原点である「季節キャンペーン」を展開し、夏季一時金の預入について、取組みを実施しました。

2023 サマーキャンペーン実績（6月1日～7月31日）

【定期・エース預金新規預入】16,200件・52億10百万円（2022年度比▲50件・▲4億円）

2023 ウィンターキャンペーン実績（11月1日～12月30日）

【定期・エース預金新規預入】15,441件・40億87百万円（2022年度比▲737件・+6億69百万円）

- ④ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大に取り組みました。

ろうきんアプリ契約件数（2024年3月末時点）

【契約件数】20,432件【累計契約件数(2019年10月22日～2024年3月末)】83,910件

エコ通帳 [通帳不発行型の普通預金口座]（2024年3月末時点）

【新規件数】8,293件（前年同期比+1,282件）

- (2) 「生活改善」運動の取組み【資料5-①～④参照】

「可処分所得向上運動」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携強化を図りました。また、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取り組みました。

- ① 住宅ローン推進運動

有担保ローン新規目標額（2024年3月末時点）

【目標】700億円 【実績】780億円（目標対比+80億円）

- (3) 「生活防衛」運動の取組み【資料6-①・②参照】

- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開しました。特に若年層において「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開しています。

Young pack キャンペーン実績（2024年3月末時点）

【実績】843件

- ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取り組みました。

生活防衛運動に関する学習会開催回数（2024年3月末時点）

【開催回数】216件 【参加組合員数】4,749人

- ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応を行いました。

### 3. 職域活動費の効果的な活用【資料7-①・②参照】

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は602回、延べ14,216名出席となり、会員組合員との接点強化が図られました(内、WEBを活用した学習会は4回となりました)。
- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「資産形成に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は24,703,239円となりました。

### 4. 推進機構活性化運動の展開

#### (1) 運動の基盤強化

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」「職場推進委員会の設置・活性化」【資料8参照】に取組みました。結果として、「大会議案書へのろうきん運動方針化」は392会員、「組合機関紙への商品・サービスの掲載」は119会員、「職場推進委員会の設置数」は490会員となりました。

#### (2) 「組合員様専用サイト」の活用

ろうきんがホームページ上に開設している「組合員様専用サイト」をリニューアルし、地域・職場で工夫しながら取組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図りました。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物の作成した他、「WEBアンケートBOX」を活用した取組みを展開した結果、当該ページへのアクセス数は13,332件となりました。

### 5. 新型コロナウイルス感染症の分類見直し後における運動の展開

新型コロナウイルス感染症の分類が「2類相当」から「5類」に見直されたことをふまえ、全道推進会議主催の「ブロック別研修会」を4ブロックで開催しました。

また、「連合北海道」「北海道労働者福祉協議会」が「勤労者福祉の向上」を目的に展開する「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、関係団体との合同による労働福祉事業団体の利用拡大に向けた要請活動を都合23産別・2ブロック労福協（宗谷・留萌）に対し実施しました。加えて、労福協運動の理念・歴史を継承するために開催された「北部労福協『第8回労働者福祉運動の理念・歴史講座』」に参画しました。また、2月15～16日に開催する「第2回全道ウェルフェアスクール」に参画しました。

#### 【2023年度ブロック別研修会開催日一覧】

対象ブロック	開催日	開催地
網走	10月25日(水)～10月26日(木)	北見市
宗谷・留萌	11月17日(金)～18日(土)	稚内市
後志	11月22日(水)	小樽市
日胆	12月14日(木)～12月15日(金)	苫小牧市

## 6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」と「北海道ろうきん」が連携し、「年金口座移管運動」を展開した結果、労金での年金受取口座は26,965件（2024年3月末時点）となりました。

## 7. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「賃金控除事務支援サービス」、「QR伝票作成システム」、「ろうきんUC法人カード」について、重点取組期間を設定の上推進し、会員・ろうきん双方の事務負担の軽減を図るとともに、ろうきん職員と組合員の更なる接点拡大に向けて取り組み展開しました。

【2024年3月末時点】

No	項目	件数
①	団体IB契約数	131件
②	賃金控除事務支援サービス契約数	137件
③	QR伝票印刷システム利用件数	37,186件
④	ろうきんUC法人カード契約団体数	8団体
	合計	37,462

Ⅱ. 2023年度決算報告(案) <2023年4月1日~2024年3月31日/単位:円>

1. 地域活動費決算報告 (単位:円)

予 算		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
地域活動費	54,230,000	地域活動費	36,833,210
合 計	54,230,000	合 計	36,833,210

2. 職域活動費 (単位:円)

予 算		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
職域活動費	30,000,000	職域活動費	24,703,239
合 計	30,000,000	合 計	24,703,239

3. 事務局費 (単位:円)

予 算		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
旅 費	1,000,000	旅 費	697,470
会 議 費	200,000	会 議 費	0
事 務 局 費	300,000	事 務 局 費	2,500
広 告 ・ 宣 伝 費	500,000	広 告 ・ 宣 伝 費	0
合 計	2,000,000	合 計	699,970

## <協議事項>

### I. 2024 年度推進活動方針（案）

北海道ろうきんは、2024 年度は、「長期ビジョン（～2024 年度）」の実現に向けた「中期経営計画（2022～2024 年度）」の最終年度として、アクションプラン（重点課題・個別課題）並びに評価指標の達成に向けて総仕上げを行う年度としました。

私達は、ろうきんが掲げるコアバリューの実現が、組合員の生活向上に繋がることに確信を持ち、会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めていきたいと思えます。

具体的には、連合北海道・2023 生活アンケートの結果をふまえ、「つなぐプロジェクト for SDG s」推進運動を基軸とし、ろうきん運動の原点である「預金結集」や「可処分所得向上運動」を進め、組合員との接点強化に資する各種取組みを行うことで、ろうきんメインバンク No.1 への取組みを進めます。

## <重点取組項目>

### 1. 【つなぐプロジェクト for SDG s】における「自主目標設定運動」の取組み

- ①『共通取組み』である【つなぐプロジェクト for SDG s】の達成にむけ「**会員自主目標推進運動**」を『重点取組み項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みます。
- ② 会員自主目標の設定にあたっては、つなぐプロジェクト「**会員分件数目標**」⇔「**会員自主目標**」を目指した取組みとなるよう、ろうきん各営業店と連携します。

### 2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み

- ①『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、昨今の物価高騰等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の**可処分所得向上に資する取組み**を『重点取組み項目』に設定し、組合員の生活改善に取り組むこととします。
- ② 取組みにあたっては、「**住きっと！500**」に含まれるカードローン借換額を新たに算出基準に加え、他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換を推進し、組合員の「**可処分所得向上額 10 億円以上**」を目指します。
- ③ 大学生の約 5 割が利用している奨学金について、社会人になってからの返済負担が将来不安に繋がっている状況の改善に向け、組合員の負担軽減に取り組めます。また、「**教育ローン（奨学金借換専用）**」申込者を対象とする「**ろうきん団信**」「**がん団信**」の付保取扱いについて、周知活動を展開し、万一の際の組合員およびその家族の生活保障に備えます。
- ④ 協同組合組織や福祉事業団体との連帯により、以下のろうきん商品・サービスを重点運動項目とします。

全道推進会議・重点運動項目
①「マイプラン」や「メンバーズローン」等を活用した高金利商品からのろうきん商品への借換の取組み
②「奨学金借換ローン」および「奨学金借換+αローン」の周知活動の展開
③「全力応援 pack」の周知による非正規雇用組合員の取引拡大の取組み



## ＜共通取組み＞

### 1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開【資料9-①～②参照】

- (1) ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大を目指します。
- (2) 今年度も年度当初に寄付先を選定し、地域団体への貢献と連携を進めます。
- (3) 「つなぐプロジェクト for SDGs」の取組みにあたっては、「**会員自主目標推進運動**」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携を強化します。
- (4) 大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動を展開します。
- (5) コロナ禍により十分に教宣が行えなかった若年層組合員に対しては、「フルキャッシュバックサービス」等の各種サービス周知を強化するとともに、ろうきんが設定する「Young pack キャンペーン」などを活用し、産別・単組および地域における「組織拡大」と連動した取組みを展開します。
- (6) 連合北海道・2023 生活アンケートの結果をふまえ、「つなぐプロジェクト for SDGs」を通じて、ろうきんメインバンク NO.1 への取組みを展開します。

### 2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

- (1) 「生活設計」運動は、日銀の金融政策決定会合による「マイナス金利政策の解除」などの影響が想定されるものの、引き続き、ろうきん商品の周知活動を展開するとともに、以下の取組みをそれぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携の上、取組みを展開します。
  - ① 「2023 “人生 100 年時代” 未来設計スタートキャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取組みます。取組みにあたっては、組合員の「貯蓄」と「投資」のバランスに配慮し、特に勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知する取組みを展開します。
  - ② 退職者層の生涯取引に向けて、「退職金結集運動」を展開します。活動にあたっては、組合役員帯同オルグの実施や、職域活動費を活用した学習会・セミナーに取組みます。
  - ③ ろうきん運動の原点である「預金結集運動」に基づく「季節キャンペーン」を展開し、夏季・冬季一時金の結集とあわせて、「お子さま口座」を中心に家族取引の拡大を目指します。
  - ④ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大を目指します。

#### 全道推進会議・重点運動項目

- |  |
|--|
| ア. 「財形預金」、「エース預金」などの積立型定期預金の推進               |
| イ. 退職者向け「高金利定期預金商品（年金定期・リラックス等）」の推進          |
| ウ. 組合員や退職者のニーズを捉えた「投資信託」・「国債」などの推奨           |
| エ. 「iDeCo」や「つみたてNISA」など税優遇のある積立型投資商品の推奨      |
| オ. 非対面サービスである「エコ通帳」「ろうきんアプリ」「ろうきんダイレクト」などの推進 |

- (2) 「生活改善」運動の取組みについては、「可処分所得向上運動」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんと連携強化を図ります。また、引き続き、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取組みます。
- (3) 「生活防衛」運動の取組みについては、それぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携の上、以下の取組みを展開します。
- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開します。特に若年層にとっては、「資産形成」を進めると同時に、「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開します。
  - ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取組みます。
  - ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応します。

お客様相談室（相談員 1 名）	
<フリーダイヤル>	0120-380-931
<住 所>	札幌市中央区北 1 条西 5 丁目 3-10 本館 1F コンサルティングプラザ内

### 3. 職域活動費の効果的な活用

新型コロナウイルス感染症の分類が見直しされた後も引き続き、WEB 会議での職域活動費活用が可能となっているため、会議（対面・WEB）への組合員の参加に取組みます。

(1) 2024 年度職域活動費
① 年度予算 3,000 万円
② 組合員 1 人当たり活用上限 2,000 円
(2) WEB 会議での活用例
① 会員が主催する WEB 会議において、各接続拠点（労組・支部単位等）の「会場・設備」に係る費用の助成。
② WEB 会議開催の際に、接続拠点ごとに提供する「弁当代・懇親会」に係る費用の助成。

### 4. 推進機構活性化運動の展開

- (1) 地域や職場でのろうきん運動の浸透に向け、必要に応じて WEB 環境を活用するなど、本支店・出張所推進委員会への出席率向上に取組みます。
- (2) ろうきんがホームページ上に開設している「組合員様専用サイト」を活用し、地域・職場で工夫しながら取組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図ります。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物の作成や、「WEB アンケート BOX」を活用した取組みを展開します。

## 5. ブロック別研修会の開催

2024年度は、3ブロック（石狩、上川、道東）にて開催し、参加対象者をろうきん運動の担い手となる会員中堅役員ならびに青年女性層組合員とし、前回開催規模と同程度の人数参加を要請する予定としています。

なお、開催内容の詳細については、全道推進会議総会にて、提案することとします。

【参考：前回開催内容】

ブロック名	参加者		ブロック名	参加者	
	各店推進委員会	人数		各店推進委員会	人数
石 狩	本店営業部	8名	道 東	釧路支店	22名
	道庁支店	4名		帯広支店	22名
	札幌東支店	7名		中標津支店	12名
	札幌西支店	6名	上 川	旭川支店	20名
	札幌北支店	8名		名寄支店	12名
	札幌麻生支店	5名		富良野支店	10名
	千歳支店	4名			
	江別支店	4名			
	札幌平岡	4名			

## 6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

生涯取引の観点から、「ろうきん友の会」への加入を積極的に働きかけるとともに、つなぐプロジェクトと連動する「年金受取口座移管運動」に取り組めます。

## 7. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「貸金控除事務支援サービス」、「QR伝票作成システム」、「ろうきんUC法人カード」を推進し、会員、ろうきん双方の事務負担の軽減を図るとともに、ろうきん職員と組合員の更なる接点拡大に向けて取り組めます。



©ROKIN

Ⅱ. 2024年度予算（案） <2024年4月1日～2025年3月31日／単位：万円>

1. 「地域活動費」「職域活動費」「事務局費」予算（案） (単位：万円)

科 目	2023年度	2024年度	増 減
地 域 活 動 費	5,423	5,390	-33
地域活動費(つなぐPJ表彰金)	28	33	+5
職 域 活 動 費	3,000	3,000	±0
事 務 局 費	200	200	±0
合 計	8,651	8,623	-28

2. 地域活動費 店別予算（案） (単位：万円)

店 名	2023年度	2024年度	店 名	2023年度	2024年度
営 業 部	242	240	滝川(※1)	183	178
道 庁	123	124	赤 平	—	—
札 幌 北	198	198	砂 川	105	105
札幌麻生	118	118	芦 別	87	87
札幌西連合	156	155	旭 川	222	221
札 幌 東	177	174	富 良 野	132	132
札幌平岡	147	148	留 萌	134	134
江 別	113	114	名 寄	167	166
千 歳	140	140	稚 内	194	194
小 樽	165	165	帯 広	322	322
俱 知 安	133	133	釧 路	236	234
函 館	233	232	中 標 津	149	150
八 雲	133	133	北 見	181	180
室蘭連合	250	240	紋 別	103	103
苫小牧	201	201	遠 軽	98	108
静 内	167	166	網 走	154	154
岩見沢(※1)	260	241	合 計	5,423	5,390
(夕 張)	—	—			

※1) 店舗内店舗化に伴い、夕張・赤平出張所推進委員会は地区推進委員会へ移行しており、地域活動費は、母店推進委員会（岩見沢・滝川）での予算計上とし、一律部分に対し5年間の経過措置を設けます。

※2) つなぐプロジェクト表彰金は除く。

### Ⅲ. 各種取組みの周知活動

#### 1. 「支払うお金を使えるお金に！借換応援キャンペーン」【別添チラシ参照】

(1) 昨今の物価高騰等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の可処分所得向上に資する取組みとして、会員組合員の生活改善につなげるキャンペーン（期間：5月1日～10月31日）の周知活動を展開します。

##### 【キャンペーン概要】

(1) 実施時期

2024年5月1日(水)～10月31日(木)

(2) キャンペーン内容

〈特典1〉上記期間中に他行他社ローンからの借換成約で、もれなく「クオカード1,000円分」進呈

〈特典2〉(成約に至らなくても)返済予定表等をご提出いただき、借換シミュレーションの提案を受けられた場合にもれなく「クオカード500円分」進呈

※〈特典1〉〈特典2〉のどちらかが対象となります。

### Ⅳ. 役員の変更

下記の通り、役員を変更します。

役職	旧役員氏名	新役員氏名	所属
幹事	佐野 和孝	三浦 友和	北教組
幹事	佐竹 良将	齊藤 雅彦	連合十勝地協

### Ⅴ. 今後の日程

開催日時(予定)	会議名	開催場所
2024年6月25日(火)14時	全道推進会議総会	ホテルポールスター札幌

以上